

ゆめまぼろしとうつつのはざま

夢幻現間

詩集

Satake Shigeo

佐竹重生

土曜美術社出版販売

ゆめまぼろしとうつつのはざま

詩集
夢幻現間

佐竹重生

著者略歴

佐竹重生 (さたけ・しげお)

1935年 名古屋市に生まれる

詩集 2005年『孤老 されど』(郁朋社)

2009年『蓮の花開くときに』(土曜美術社出版販売)

所属 2002年～現在「蕊」

2007年～2012年終刊まで「岩礁 (田園)」

2008年～現在 中日詩人会

2013年～現在 岐阜県詩人会

住所 〒503-0535 岐阜県海津市南濃町松山 674-6 田中方

詩集
夢幻現間

ゆめまぼろしとうつつのはざま

発行 二〇一四年十月二十日

著者 佐竹重生

装幀 直井和夫

発行者 高木祐子

発行所 土曜美術社出版販売

〒162-0813 東京都新宿区東五軒町三一〇

電話 〇三―五二九―〇七三〇

FAX 〇三―五二九―〇七三二

振替 〇〇一六〇―九―七五六九〇九

印刷・製本 モリモト印刷

ISBN978-4-8120-2180-4 C0092

詩集

夢ゆめまほしとうつのはざま

幻現間

* 目次

I

不発弾 8

いきる 14

四十六億年の垢 18

保護色 22

地球は齧らないでください 26

形見 32

薔薇 36

格好いいこと 40

昼下がり 44

ミルキーウェイ 48

どうしてわたしですか 52

棺の人 56

白い帽子の人 60

年賀状 64

Ⅱ

ある日のチンパンジー
——旭山動物園にて—— 68

シーホース 74

郭公の女 78

オオサンショウウオ 82

桜と子猫 86

ダンゴムシ 90

ハリヨ 96

あとがき 100

詩集

夢ゆめまほろしとうつのほごま

幻現間

＊

目次

I

不発弾 8

いきる 14

四十六億年の垢 18

保護色 22

地球は齧らないでください 26

形見 32

薔薇 36

格好いいこと 40

昼下がり 44

ミルキーウェイ 48

どうしてわたしですか 52

棺の人 56

白い帽子の人 60

年賀状 64

Ⅱ

ある日のチンパンジー
——旭山動物園にて—— 68

シーホース 74

郭公の女 78

オオサンショウウオ 82

桜と子猫 86

ダンゴムシ 90

ハリヨ 96

あとがき 100

詩集

夢ゆめまほろしとうつのはざま
幻
現
間

不発弾

少国民と呼ばれていたところ
ぼくらの上には

黒く着色された雨水が降り注いでいた
角度を変えれば虹色に見える

この雨水を

本当の水だと信じて飲み
飲まされていたけれど

ある日

頭上に迫る巨大な金属鳥

風防硝子の奥に覗く航空兵の幻影が

鷹の眼よりも鋭くぼくを射貫いて

以来

ぼくは

染色された軍国少年を町に残して

普通の少年に戻った身体と

恐怖を知った心を連れて

田舎に転進した

いや 逃げたのだ

田舎の仲間は

戦争など 遠い国の出来ごとのような

平和の中の

無色透明な小川で

逃げる小鮎を手づかみにして

生きたまま飲み込み

喉を抜ける断末魔の足掻きを

食道や胃に記憶させて

原始狩猟を楽しんでいた

その狩猟は彼らの勲章だった

ぼくは

この勲章を早速手にいれた

原始少年に成長したぼくは

小鮎が胃壁を叩く足掻きに

町から随いてきた恐怖は破壊され

山あいの空に霧散した
と思つていたが

空襲から半世紀以上も過ぎたというのに
町なかに

忽然と現れた不発弾

長い平和の中で撃鉄は錆び
火薬は湿ったと言うけれど

次第に重くなる雨の色に

染まつていく町の空

温い平和の風に混じつて

硝煙を包み込んだ息が

ひっそりと吐かれはじめ